



政府統計

報道関係者 各位

令和3年2月3日

【照会先】

政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

統計管理官 瀧原 章 夫

室長補佐 渡邊 功 一

雇用第一係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7616)

(直通電話) 03-3595-3145

令和2年上半期「雇用動向調査」の結果を公表します

～入職率 8.5%、離職率 8.5%で、前年同期に比べ、
入職率は 1.2 ポイント、離職率は 0.6 ポイントそれぞれ低下～

厚生労働省では、このほど、令和2年上半期「雇用動向調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「雇用動向調査」は、全国の主要産業に属する5人以上の常用労働者を雇用する事業所における入職者数・離職者数、入職者・離職者の性・年齢階級、離職理由等の状況を明らかにすることを目的に、上半期と下半期の年2回実施しており、上半期調査は1月から6月までの状況について6～8月に調査を行っています。

今回の調査は、15,396事業所を抽出して行い、9,032事業所から有効回答を得ました。なお、回答を得た事業所の入職者36,412人、離職者38,624人についても集計しています。

【調査結果のポイント】

1 入職及び離職の状況

令和2年上半期の入職者数は4,360.7千人、離職者数は4,321.9千人で、年初の常用労働者数に対する割合である入職率、離職率はそれぞれ8.5%で、入職超過率(入職率-離職率)は0.0ポイントであった。前年同期に比べ、入職率は1.2ポイント、離職率は0.6ポイントそれぞれ低下した。

就業形態別にみると、一般労働者は、入職者数2,608.5千人、離職者数2,324.9千人、パートタイム労働者は、入職者数1,752.2千人、離職者数1,997.0千人で、一般労働者の入職率が7.1%、離職率が6.3%で入職超過となり、パートタイム労働者の入職率が12.2%、離職率が13.9%で離職超過となっている。

【6ページ 表1、7ページ 図1-1、図1-2、8ページ 図1-4】

2 産業別入職及び離職

令和2年上半期の労働移動者を主要な産業別にみると、入職者数は医療、福祉が762.6千人と最も多く、次いで卸売業、小売業が702.4千人、宿泊業、飲食サービス業が581.3千人の順となっている。離職者数は卸売業、小売業が727.2千人と最も多く、次いで宿泊業、飲食サービス業716.9千人、医療、福祉が668.4千人の順となっている。

入職率、離職率をみると、いずれにおいても宿泊業、飲食サービス業が最も高く(入職率12.4%、離職率15.3%)、次いで教育、学習支援業(入職率11.5%、離職率12.2%)となっている。

【12ページ 表5、13ページ 図3-1、23ページ 附属統計表2】